

心地乾淨



伊佐市長
隈元 新

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新しい年の始まりを穏やかに清々しく迎えのこととお慶び申し上げます。伊佐市になり7回目の新年を迎えたことに深く感謝し、責任の大きさをさらに自覚する元旦です。郡山八幡神社をはじめ各所の神社を参拝して、心清らかに願うのは、市民の皆さまのご健康、そして災害が起きないことです。初詣は神様に感謝し新年の平安を祈願する、誰もが謙虚になれる時間です。戦後70年を迎える節目の年、日本の平和と繁栄の礎とられた先人にも感謝しなければなりません。

昨年は、「若者の活躍」と伊佐の「住みやすさ」が話題になりました。3月、井上雄彦氏が伊勢神宮式年遷宮を記念して奉納された墨絵『承』の特別公開に1万1,680人が来場。8月には車椅子バスケットボール日本代表の合宿と紅白試合も行いました。また、若者が中心になり活動する市公認キャラクター「イーサキング」の知名度が全国規模に近づいたことや、次世代を担う人材育成を目指して開講した平田大一氏によるリーダー養成講座「平田塾」で学びの場を提供しました。このほかに、創立100周年を迎えた伊佐農林高校の記念事業や、大口高校への活性化支援事業など注目を集めました。「人にやさしい

まちづくり」として取り組む保育園や幼稚園、社会福祉施設などの充実、病院や医師の確保などが評価され、住みよさランキング（東洋経済新報社調べ）で県内1位は名誉なことでした。

しかしながら、人口減少社会の未来を描いた「地方消滅」がベストセラーになるほど、地方の将来不安は高まっています。伊佐市の未来のために、皆さまと問題を共有しながら危機を突破し、若者には大胆な発想や活動を期待します。わがまちが誇る自然や歴史、産業や人材を資源として、これからも安全・安心なまちづくりに努めてまいります。

「人間は幸せになるために生まれてきた」という言葉が大好きです。心が穏やかになれるところに、いつも神様仏様は居てくださると私は信じます。心地乾淨（心の中をさっぱりときれい）にして書物を読み古言を学ぶがごとく新年をスタートさせ、「人は常に菜根を良く咬んでいれば、あらゆることはなしとげられる」の言葉のように、世の中の真を理解できるような『幸せ』な住みよさを求めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

去年今年巡る生命（いのち）の有難さ

（新）

2015 New Year's Greeting

年頭のごあいさつ



伊佐市議会議長

丸田 和時

進取果敢

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかにお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。

わが国におきましては、一昨年から安倍首相が表明したアベノミクスが推し進められ、機動的な財政政策、大胆な金融緩和、民間投資を喚起する成長戦略を柱に「デフレ」からの脱却や、一定の経済成長の達成など、日本経済の再生をめざしてきましたが、昨年4月1日、17年ぶりに引き上げられた消費税8%の影響は想像以上に大きく、国内総生産（GDP）は大きく落ち込み、今年10月の10%引き上げは先送りされました。また、昨年5月には日本創成会議分科会が「896市区町村の20〜30代の女性が、30年間で半分以上に減り、このうち523自治体は、2040年時点で人口1万人を切る見込みで、これらの自治体の運営は難しくなり将来消滅する可能性がある」と大変ショッキングな発表をしました。この中には伊佐市も含まれており、人口減対策が最重要課題であることを再認識いたしました。さて、伊佐市の昨年の出来事として、2月22日から3月2日にかけて本市出身の漫画家である井上雄彦氏の墨絵「承」

の特別公開が大口ふれあいセンターであり、1万1,680人の方が鑑賞され、関心の高さを感じました。また、7月には「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の調査項目の偏差値で順位を決める、全国都市「住みよさランキング」2014（東洋経済新報社調べ）で伊佐市が鹿児島県内1位に輝くという嬉しいニュースがありました。

議会としましては、9月定例会において議会における最高規範である「議会基本条例」を制定し、11月にはこの議会基本条例に基づき、議会報告会を市内6会場で開催しましたが、思うように参加者が集まらず、議会の役割や活動報告を広くお知らせすることができませんでした。今後は多くの方に参加いただけるように事業所や各団体での開催も積極的に取り入れてまいります。市民の皆さまの期待に応えるべく、議会の活性化に引き続き取り組みながら、進取果敢に議会改革を行なっていく所存であります。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさついたします。



一年の健康を祈願して元旦から行う
地域もある「鬼火焚き」(各地域)

2月下旬から3月にかけて色鮮
やかにまちを彩るつるし雛「伊
佐の福かざり」(大口商店街)

冬

JANUARY

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



1月11日 出初式
(伊佐市陸上競技場)

1月3日 成人式
(大口ふれあいセンター)

ふるさと歳時記 いさの季節巡り

～郷土の魅力を再認識 市民一人ひとりが観光案内人～

新年は一年の健康を祈願する「鬼火焚き」からはじまる地域もあります。「いつでも行ける」と思ってこれまで経験していない四季折々の年中行事。伝統や文化に触れて、その時どきの季節を楽しんでみましょう。知らなかった感動や嬉しくなるような発見があるかもしれません。
※各イベントの開催時期等は変更になる場合があります。

夏

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



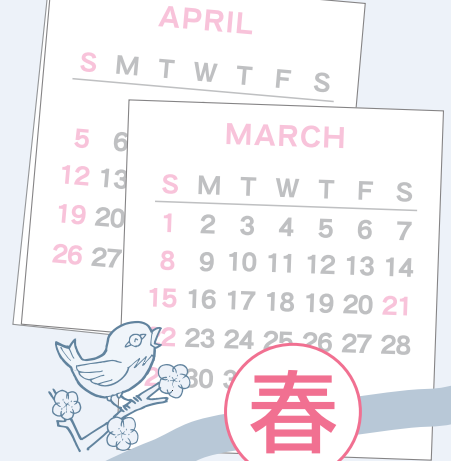
毎年8月15日は平和の尊さを想う「伊佐市戦没者追悼式」
(伊佐市文化会館)

7月下旬 夏まつり
(伊佐市大口商店街)

8月上旬 花火大会
(湯之尾滝上流)



忠元公園より少し早めにお花見するなら
 ・3月中旬に祭りもある「おきな草」
 (本城：柳野さん宅)
 ・日本最大「エドヒガン桜」(奥十曾)
 ・桜のようなバラ科の植物「カイドウ」
 (十曾わんぱく広場)



春

忠元公園の桜が終わると見頃なのは
 ・1万株の「スズラン」(白木富ヶ岡)
 ・庭一面咲き誇る「芝桜」(羽月：棚崎さん宅)



3月下旬
 忠元公園桜まつり



11月23日
 ・曾木の滝公園もみじ祭り
 (曾木の滝公園)
 ・湯之尾神舞(湯之尾神社)

4月中旬～5月上旬
 湯之尾滝こいのぼり
 (湯之尾滝)



5月3日
 いさドラゴンカップ
 (菱刈カヌー競技場)



11月中旬
 伊佐ふるさとまつり
 (菱刈農村公園)



11月3日
 伊佐市文化祭
 (伊佐市文化会館ほか)



秋



10月第2日曜日
 伊佐市民体育祭
 (伊佐市陸上競技場)

問い合わせ先 伊佐PR課交流PR第1係 ☎0995・29・4113